

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04010010	基本施策	19 情報通信網の整備・充実	事業優先度	B	基本施策（後期）を実現するために行うべき事業
	単位施策	2 行政情報化の推進			
事業名	戸籍総合システム事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課	DX推進室	
事業指標	①システム正常稼働率 ②端末機更新整備率		数値目標	①100% ②100%	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
○戸籍総合システムにより届出による記載、各種証明書の迅速な発行が可能となり、町民サービスの向上やペーパーレス化による帳簿管理の簡素化が可能となる。  ・戸籍クラウド利用料 ・戸籍端末機更新 ・戸籍総合システム改修業務委託		戸籍クラウド利用料 6,372千円 戸籍総合システム 改修業務委託(事務内連携) 4,386千円 戸籍総合システム 改修業務委託(ローマ字表記) 4,000千円		戸籍クラウド利用料 6,389千円 戸籍クラウド回線使用料 72千円 戸籍総合システム標準化・共通化 改修業務委託(クレンジング) 1,848千円 戸籍総合システム 改修業務委託(通知出力) 1,243千円 戸籍総合システム 改修業務委託(ローマ字表記) 3,993千円 ※令和5年度から繰越		戸籍クラウド利用料 6,389千円 戸籍クラウド回線使用料 72千円 戸籍総合システム標準化・共通化 改修業務委託(システム改修) 8,998千円 戸籍総合システム 改修業務委託(職権記載) 682千円		戸籍クラウド利用料 6,389千円 戸籍クラウド回線使用料 72千円 戸籍総合システム 改修業務委託(旧氏記載) 1,353千円		戸籍クラウド利用料 6,389千円 戸籍端末機更新 6,050千円 戸籍クラウド回線使用料 72千円		
		年度別数値目標		①100% ②100%		①100%		①100%		①100%		①100% ②100%
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	22,510	12,691	8,386	4,386	3,091	8,305	9,680		1,353		
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	2,167	1,165	300	300	967	865	300		300		300
	一般財源	36,099	11,724	6,072	6,134	5,494	5,590	6,161		6,161		12,211
合計(千円)	60,776	25,580	14,758	10,820	9,552	14,760	16,141	0	7,814	0	12,511	0
特定財源	社会保障・税番号制度システム整備費補助金 各交付手数料 デジタル基盤改革支援補助金	評価・実績	実施内容		クラウド利用サービス 戸籍総合システム事務内連携 改修業務委託 戸籍総合システムローマ字表記 改修業務委託		ローマ字表記(前年から繰越) 2,200千円 仮名情報(前年から繰越) 3,080千円 通知出力 1,177千円 標準化・共通化 1,848千円 クラウド利用 6,389千円 クラウド回線 66千円					
	評価結果		A - 継続/現状維持		A - 継続/現状維持							

事業名	戸籍総合システム事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	戸籍住民係長	毛利 宗義

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	日本に戸籍を定める人		望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	クラウドサービスの利用									
抱える課題やニーズ	戸籍は身分関係を公証する公文書であるため、正確かつ迅速な事務処理が求められている。		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値									
どのような状態になることを目指したのか（意図）	戸籍届出事件の正確な記載処理及び処理時間の短縮。帳簿処理の簡素化のための戸籍総合システムの安定した稼働を図る。		①	システム正常稼働率	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和6年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和6年度	目標値	100%	実績値	100%	達成度	100.0%
目標年度	令和6年度												
目標値	100%												
実績値	100%												
達成度	100.0%												
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	戸籍総合システムの活用による記載処理の正確性の確保及び迅速な証明発行により、住民サービス、利便性の水準を維持する。		②	端末機更新整備率	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和6年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和6年度	目標値	100%	実績値	100%	達成度	100.0%
目標年度	令和6年度												
目標値	100%												
実績値	100%												
達成度	100.0%												
内容（どのような手段で何を行ったか）	クラウドサービスの利用	クラウド利用により、業者委託による保守の実施を行った											
	戸籍総合システムの活用	システムの活用により、戸籍届出事件の記載処理及び各種証明書発行を行った。											
	戸籍総合システムの改修	社会保障・税番号制度システム整備に伴い、改修業務委託を実施した。											

■事務事業の評価（Check）

(1) 事務事業の必要性（町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	戸籍事務は戸籍法に基づく国の法定受託事務であり、正確な事務処理と迅速な証明発行を行うため必要な事業である。
必要／概ね必要 ／課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 全部	
		<input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	クラウドサービスを利用することにより、システム停止等のトラブルはなく、遅滞なく事務処理を行うことができた。
有効／概ね有効 ／課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
		<input type="checkbox"/> ほぼ達成	

(3) 事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか）

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	クラウドサービスを利用することにより、安定した稼働ができており、不具合が発生した場合の修繕コストの抑制も図れる。また、正確かつ迅速な戸籍事務の執行、効率化にもつながっている。
効率的／概ね効率的 ／課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	戸籍法改正に伴い、令和5年3月1日から本町の本籍人以外にも広域交付により戸籍謄本等が発行可能になり、受益者負担については、町手数料条例に基づく発行手数料を徴収している。
公平／概ね公平 ／公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
戸籍総合システムの活用による記載処理の正確性の確保及び迅速な発行処理により、住民サービスの向上に努めた。		

今後の展開方向 (Action)			
継続／現状維持			
住民サービス、利便性の水準の維持・向上のため、法改正に基づく新たな制度に対応するためシステム改修を行い、今後も計画どおり事業を進めることが必要である。			

※展開方向の区分  
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04010020	基本施策	19 情報通信網の整備・充実	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	2 行政情報化の推進			
事業名	住民基本台帳ネットワークシステム事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課	DX推進室	
事業指標	①システム正常稼働率 ②システム運用関係業務数 ③端末機・CSサーバ更新整備率		数値目標	①100% ②2業務 ③100%	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
○住民基本台帳ネットワークへの参加継続により、行政事務処理の効率化や各種オンライン手続きが可能となり町民サービスの向上が図られる。また、個人を識別する個人番号カード発行が可能となる。  ・CSサーバ、端末機更新 ・機器賃借及び保守委託 ・個人番号カード発行業務 ・住民基本台帳ネットワークシステム改修業務委託 ・個人番号カード交付率向上対策		機器賃借及び保守委託 1,596千円 端末機更新 770千円 個人番号カード発行業務 住民基本台帳ネットワークシステム改修業務委託 4,000千円		機器賃借及び保守委託 863千円 個人番号カード発行業務 住民基本台帳ネットワークシステム改修業務委託 2,640千円 ※令和5年度から繰越 個人番号カード交付率向上対策（夜間・休日窓口開設等）		機器賃借及び保守委託 855千円 CSサーバ更新 7,500千円 個人番号カード発行業務 個人番号カード交付率向上対策（夜間・休日窓口開設等）		機器賃借及び保守委託 568千円 個人番号カード発行業務		機器賃借及び保守委託 568千円 個人番号カード発行業務		
		年度別数値目標	①100% ②4業務 ③100%	①100% ②3業務	①100% ②4業務 ③100%	②2業務	②2業務					
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財 源 内 訳	国庫支出金	4,726	2,741	4,000		726	2,741					
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	2,473	456	600	286	137	170	600		568		568
	一般財源	9,521	2,635	1,766	2,099		536	7,755				
合計(千円)	16,720	5,832	6,366	2,385	863	3,447	8,355	0	568	0	568	0
特 定 財 源	各交付手数料 社会保障・税番号制度システム 整備補助金 個人番号カード交付事務費補助金	評 価 ・ 実 績	実施内容		機器賃借及び保守委託 端末機更新 個人番号カード交付率（73.9%） 住民基本台帳システム改修		ローマ字表記(前年から繰越) 2,585千円 機器賃借及び保守委託 862千円					
	評価結果		A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持							

事業名	住民基本台帳ネットワークシステム事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	戸籍住民係長	毛利 宗義

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	町民		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	機器の保守点検回数、機器更新	
抱える課題やニーズ	行政事務の電子化、各種オンライン手続の拡充が求められている。				
どのような状態になることを目指したのか (意図)	行政事務の電子化を進めるため、システムの安定した運用を図る。		① システム正常稼働率	目標年度	令和6年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	行政手続の電子化を進めることにより、行政サービスの向上が図られる。			目標値	100 %
			実績値	100 %	
内容 (どのような手段で何を行ったか)	住民基本台帳システムの賃借及び保守委託、運用	サーバ及び端末機器を賃借し、業務委託により保守点検を実施した。また、システムを活用した住基情報に係る各種処理を行っており、住民基本台帳法及び北海道住民基本台帳法施行条例に基づき、住基情報を町税賦課・滞納整理事務に活用している。			
	個人番号カードの発行	町民からの申請に基づき、個人番号カードの交付を行った。			
	住民基本台帳システムの改修	社会保障・税番号制度システム整備に伴い、改修業務委託を実施した。			

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	住民基本台帳事務は住民基本台帳法に基づいたものであり、個人番号カードの交付は法定受託事務となっている。また、住民票の広域交付や年金現況届などの各種届の省略ができ、住民負担の軽減、サービスの水準維持のため必要な事業である。
必要 / 概ね必要 / 課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 全部	
		<input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	機器の保守委託を行ったことにより、故障によるシステム障害等のトラブルはなく、安定した運用ができ、円滑に個人番号カード交付事務を執り進めることができた。
有効 / 概ね有効 / 課題あり		<input type="checkbox"/> 達成	
		<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	本システムは、総合行政システムにおける住民情報と連動させるために同一業者から導入し保守業務を行っており、不具合が発生した場合には早急な回復が可能であり、修繕コストの抑制も図られている。
効率的 / 概ね効率的 / 課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input type="checkbox"/> 人員削減	
		<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	本システムは全町民を利用対象としており、住民票広域交付及び個人番号カード再交付に係る受益者負担については、町手数料条例に基づく発行手数料を徴収している。
公平 / 概ね公平 / 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価 (A~D)

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
住民基本台帳情報の活用により事務の軽減につながった。また、個人番号カードについては、臨時窓口の設置などにより交付率の向上に努めた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続 / 現状維持			
電子自治体サービスの基盤となるものであり、社会保障・税番号制度実施にあわせ今後も計画どおり事業を進めることが必要である。			

※展開方向の区分  
 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO.	政策目標	5 連帯感を高める協働のまち・雄武 協働によるまちづくりの推進	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04010030	基本施策	22 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	5 窓口サービスの向上			
事業名	窓口業務効率化検討事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和7年度	事業主体	関係課	DX推進室	
事業指標	①先進地視察回数 ②導入サービス検討項目数		数値目標	①1回 ②5項目	

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
○窓口業務を効果的・効率的に行うことで、町民の利便性の向上、サービスの向上に繋がるため、先進地等の視察を含め検討する。  ・オンライン申請 ・コンビニ交付 ・書かない窓口 ・ワンストップサービス ・上記を含めたデジタル化への検討			窓口業務効率化検討 先進地視察		窓口業務効率化検討 導入サービスの検討		窓口業務効率化検討 導入サービスの決定					
			年度別数値目標	①1回 ②5項目	②5項目	②5項目						
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	0	0									
合計(千円)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特 定 財 源		評 価 ・ 実 績	実施内容		窓口業務効率化検討 先進地視察		窓口業務効率化検討					
			評価結果		A - 継続 / 内容の見直し・変更		B - 継続 / 内容の見直し・変更					

事業名	窓口業務効率化検討事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	戸籍住民係長	毛利 宗義

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	町民		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	先進地視察回数、機器検討回数	
抱える課題やニーズ	窓口対応の時間短縮、申請書記載の簡略化。		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)	導入サービスを決定し、窓口業務の効率化を図る。		① 導入サービス検討項目数	目標年度	令和6年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	窓口業務を効果的・効率的に行うことにより、町民の利便性の向上、サービスの向上が図られる。			目標値	5項目
			実績値	4項目	
内容 (どのような手段で何を行ったか)	デジタル化を含めた導入サービスの検討	他部署を集めた上で行った、業者による申請書入力補助機器のデモンストレーションや、機器導入自治体に聞き取りを行い検討を深めた。	達成度	80.0%	
	オンライン申請・コンビニ交付等に関する検討	D Xセミナー出席などにより、証明書等のコンビニ交付や書かない窓口、オンライン申請等の情報収集を行った。	目標年度	令和6年度	
	ワーキンググループ立上げ	窓口担当部署で構成するワーキンググループを立上げ、他部署の窓口業務担当者から情報収集を行った。	目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民ニーズとしては必要であり、利便性の向上につながることから事業を進めていく必要がある。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	情報収集を行い課内での検討を進めた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	具体的な導入サービスの決定までには至らなかったが、令和7年度に向けた方向性を見出すことが出来た。
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	デモンストレーションや関連事業者等からの情報収集を通じ、窓口業務効率化に向けた検討を進めることができた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	窓口業務の効率化は全町民にメリットがあることから公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B	B	
セミナー受講や機器のデモンストレーション等により情報収集を進めるとともに、ワンストップ以外の4項目について係内で検討を行い、他部署との窓口業務の連携を視野に入れたワーキンググループを立上げ検討を行ったが、具体的なサービスの決定に結びつかなかった。	同左	

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	同左	
書かない窓口等のシステム導入については現体制での運用が現実的ではないため、庁舎以外に窓口を増やす意味合いで、郵便局を含めた外部への業務委託等を検討し実現に向け進めている。	同左		

※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了 休止 廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020010	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B	基本施策（後期）を実現するために行うべき事業
	単位施策	2 自然環境の保全と環境美化の推進			
事業名	雄武斎場施設等整備維持管理事業			担当課	住民生活課
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	適切な業務の執行率			数値目標	100%

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
火葬業務の執行 斎場施設の維持管理 墓地、墓園周辺の環境美化及び合葬墓の管理清掃等		・火葬業務の執行 ・斎場施設の維持管理 ・墓地、墓園周辺の環境美化及び合葬墓の管理清掃等		・火葬業務の執行 ・斎場施設の維持管理 ・墓地、墓園周辺の環境美化及び合葬墓の管理清掃等		・火葬業務の執行 ・斎場施設の維持管理 ・墓地、墓園周辺の環境美化及び合葬墓の管理清掃等		・火葬業務の執行 ・斎場施設の維持管理 ・墓地、墓園周辺の環境美化及び合葬墓の管理清掃等		・火葬業務の執行 ・斎場施設の維持管理 ・墓地、墓園周辺の環境美化及び合葬墓の管理清掃等		
		年度別数値目標	100%	100%	100%	100%	100%					
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財源内訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	3,810	1,500	750	750	750	750	770	770	770	770	770
	一般財源	8,400	2,526	1,263	1,263	1,263	1,263	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958
合計(千円)	12,210	4,026	2,013	2,013	2,013	2,013	2,728	0	2,728	0	2,728	0
特定財源	合葬墓使用料 斎場使用料	評価・実績	実施内容	・火葬認可に伴う、火葬業務の執行、斎場施設の維持管理及び墓地・墓園内の草刈り及び清掃等周辺環境の維持、合葬墓の管理・清掃等を民間業者に業務委託		※簡素化対象事業						
	評価結果			A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持						

事業名	雄武斎場施設等整備維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	業務の適正執行及び施設の適正な維持管理	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 火葬業務数 (66件) ÷ 火葬認可申請数 (66件)	目標年度	令和6年度
			目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0%
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的		② 施設維持管理 (斎場、墓地、墓園、合葬墓)	目標年度	令和6年度
			目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0%
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効 率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020030	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	一般廃棄物収集運搬等業務委託事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課		
事業指標	①一般廃棄物収集運搬等業務数 ②一般廃棄物収集運搬稼働割合		数値目標	①3業務 ②100%	

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
・家庭系一般廃棄物の収集及び処理施設の維持管理業務委託 ・蜂駆除 ・野犬捕獲			・家庭系一般廃棄物の収集及び処理施設の維持管理業務委託 ・蜂駆除 ・野犬捕獲及び野犬・不要犬の処分		・家庭系一般廃棄物の収集及び処理施設の維持管理業務委託 ・蜂駆除 ・野犬捕獲		・家庭系一般廃棄物の収集及び処理施設の維持管理業務委託 ・蜂駆除 ・野犬捕獲 ・スズメバチ防護服購入		・家庭系一般廃棄物の収集及び処理施設の維持管理業務委託 ・蜂駆除 ・野犬捕獲		・家庭系一般廃棄物の収集及び処理施設の維持管理業務委託 ・蜂駆除 ・野犬捕獲	
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	20,200	9,700	6,200	6,200	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	一般財源	307,678	107,132	51,979	52,137	54,679	54,995	67,220	66,900	66,900	66,900	66,900
合計(千円)	327,878	116,832	58,179	58,337	58,179	58,495	70,720	0	70,400	0	70,400	0
特 定 財 源	ごみ処理手数料		評価・実績 実施内容		※簡素化対象事業		※簡素化対象事業					
					評価結果		A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持			

事業名	一般廃棄物収集運搬等業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①適切な業務の遂行 ②収集運搬日数	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 適切な業務の遂行 ・ごみ収集運搬・野犬捕獲 ・蜂駆除・スズメバチ防護服購入	目標年度	令和6年度
			目標値	4業務
			実績値	4業務
			達成度	100.0%
		② 収集運搬日数 (土、日、年末年始を除く)	目標年度	令和6年度
			目標値	256日
			実績値	256日
			達成度	100.0%
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的				
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		

今後の展開方向  
(Action)



継続/現状維持		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

## 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO.	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020040	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①施設数 ②一般廃棄物搬出量		数値目標	①1施設 ②年120トン	

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
当町においては、西紋別地区環境衛生施設組合にて一般廃棄物の一部年間120トンのごみを西紋別地区広域ごみ処理センターへ搬出処理しており、それに伴い組合分担金(ごみ部門)を支出する。			・組合分担金（ごみ） 搬出量 年間120トン		・組合分担金（ごみ） 搬出量 年間120トン		・組合分担金（ごみ） 搬出量 年間120トン ・次期運営期間における搬出量協議		・組合分担金（ごみ） 搬出量 年間120トン		・組合分担金（ごみ） 搬出量 年間120トン	
			年度別数値目標	①1施設 ②120トン		①1施設 ②120トン		①1施設 ②120トン		①1施設 ②120トン		①1施設 ②120トン
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
一般財源	46,028	18,518	8,916	8,916	9,602	9,602	9,647		9,539		8,324	
合計(千円)	46,028	18,518	8,916	8,916	9,602	9,602	9,647	0	9,539	0	8,324	0
特定財源		評価・実績	実施内容	※簡素化対象事業		※簡素化対象事業						
			評価結果	A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持						

事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設の維持管理 (1施設)	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 1施設	目標年度	令和6年度
			目標値	1施設
			実績値	1施設
			達成度	100.0%
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的		② 西紋別広域ごみ処理センター 搬出量 120トン	目標年度	令和6年度
			目標値	120.0トン
			実績値	115.2トン
			達成度	96.0%
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効 率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持	継続/現状維持	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020050	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	リサイクル推進事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課		
事業指標	リサイクル率		数値目標	42.7%	

全体計画事業内容	令和5年度 事業内容	令和6年度 事業内容	令和7年度 事業内容	令和8年度 事業内容	令和9年度 事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌及びHP等を通じたリサイクル率向上に向けた啓発の推進</li> <li>・指定袋（収入証紙付）の作成</li> <li>・売捌き手数料の支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌及びHP等を通じたリサイクル率向上に向けた啓発の推進</li> <li>・指定袋（収入証紙付）の作成 4,843千円</li> <li>・売捌き手数料の支出 1,457千円</li> <li>・ごみ分別区分検討協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌及びHP等を通じたリサイクル率向上に向けた啓発の推進</li> <li>・指定袋（収入証紙付）の作成 5,944千円</li> <li>・売捌き手数料の支出 1,457千円</li> <li>・ごみ分別区分検討協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌及びHP等を通じたリサイクル率向上に向けた啓発の推進</li> <li>・指定袋（収入証紙付）の作成 7,795千円</li> <li>・売捌き手数料の支出 1,475千円</li> <li>・ごみ分別区分検討協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌及びHP等を通じたリサイクル率向上に向けた啓発の推進</li> <li>・指定袋（収入証紙付）の作成 6,515千円</li> <li>・売捌き手数料の支出 1,475千円</li> <li>・ごみ分別区分協議完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報誌及びHP等を通じたリサイクル率向上に向けた啓発の推進</li> <li>・指定袋（収入証紙付）の作成 6,870千円</li> <li>・売捌き手数料の支出 1,475千円</li> </ul>
年度別数値目標	40.7%	41.2%	41.7%	42.2%	42.7%

		計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財源内訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	11,500	4,600	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300		2,300	
	一般財源	27,806	9,399	4,000	4,425	5,101	4,974	6,970	6,970	5,690		6,045	
合計(千円)		39,306	13,999	6,300	6,725	7,401	7,274	9,270	0	7,990	0	8,345	0

特定財源	ごみ処理手数料	評価・実績	実施内容 ・ごみ指定袋の作成 ・雄武商工会への売捌き手数料の支出（指定袋の有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別） ・ホームページによる啓発活動の実施 ・民間業者と連携し、小型家電リサイクルサービスを実施	※簡素化対象事業			
	評価結果		A - 継続 / 現状維持	A - 継続 / 現状維持			

事業名	リサイクル推進事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	廃棄物のリサイクル率	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① (生ごみの量 + 資源ごみの量) ÷ 総廃棄物の量	目標年度	令和6年度
			目標値	41.2 %
			実績値	39.1 %
			達成度	94.9 %
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的		②	目標年度	令和6年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効 率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	

今後の展開方向  
(Action)



継続/現状維持	継続/現状維持	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

## 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO.	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020060	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	西紋別ブロック広域資源ごみ処理事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	資源ごみの適正処理率		数値目標	100%	

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
当町から排出される資源ごみのうち、有償売却できない「びん・その他プラスチック」を紋別リサイクルセンターに搬入し、中間処理に要する運営管理経費を構成市町村で負担金として支出する。			西紋別ブロック広域資源ごみ処理負担金		西紋別ブロック広域資源ごみ処理負担金		西紋別ブロック広域資源ごみ処理負担金		西紋別ブロック広域資源ごみ処理負担金		西紋別ブロック広域資源ごみ処理負担金	
			年度別数値目標		100%		100%		100%		100%	
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	1,934	736	370	370	394	366	390		390		390
	一般財源	59,137	23,766	10,242	10,949	12,965	12,817	12,510		11,710		11,710
合計(千円)	61,071	24,502	10,612	11,319	13,359	13,183	12,900	0	12,100	0	12,100	0
特定財源	資源廃棄物売払収入											
	評価・実績	実施内容	※簡素化対象事業		※簡素化対象事業							
評価結果		A - 継続/現状維持		A - 継続/現状維持								

事業名	西紋別ブロック広域資源ごみ処理事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	資源ごみの適正処理率	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 資源ごみの処理率	目標年度	令和6年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的			目標値	100 %
			実績値	100 %
		②	達成度	100.0 %
			目標年度	令和6年度
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価 [A~D]

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		



継続/現状維持		
---------	--	--

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

## 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020070	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	廃木材等処理事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課		
事業指標	廃木材の処理率		数値目標	100%	

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
廃木材の処理委託			廃木材の処理委託（250円/10kg）		廃木材の処理委託（250円/10kg）		廃木材の処理委託（250円/10kg）		廃木材の処理委託（250円/10kg）		廃木材の処理委託（250円/10kg）		
			年度別数値目標	100%		100%		100%		100%		100%	
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
財源内訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	7,500	2,032	1,500	1,352	1,500	680	1,500		1,500		1,500	
	一般財源	0	0										
合計(千円)		7,500	2,032	1,500	1,352	1,500	680	1,500	0	1,500	0	1,500	
特定財源	ごみ処理手数料		評価・実績	実施内容		※簡素化対象事業							
				評価結果		A - 継続 / 現状維持							

事業名	廃木材等処理事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	廃木材の処理率	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 廃木材の処理率	目標年度	令和6年度
			目標値	24.73 トン
			実績値	24.73 トン
			達成度	100.0 %
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的		②	目標年度	令和6年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況	
	<input type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

		判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		

今後の展開方向  
(Action)



継続/現状維持		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020080	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	雄武町廃棄物処理対策事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課		
事業指標	廃棄物（生ごみ）処理率		数値目標	100%	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容			
・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結		・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結 660千円		・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結 660千円		・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結 715千円		・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結 715千円		・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結 715千円			
		・雄武町家畜バイオマス事業推進 協議会への参加											
年度別数値目標		100%		100%		100%		100%		100%			
		計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費		
財源内訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	3,465	1,320	660	660	660	660	715		715		715	
合計(千円)		3,465	1,320	660	660	660	660	715	0	715	0	715	0
特定財源			評価・実績	・最終処分場延命化対策検討 ・生ごみ処理委託契約締結		※簡素化対象事業							
				評価結果	A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持						

事業名	雄武町廃棄物処理対策事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	廃棄物処理率	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 廃棄物処理率 (生ごみ)	目標年度	令和6年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的			目標値	100 %
			実績値	100 %
			達成度	100.0 %
内容 (どのような手段で何を行ったか)		②	目標年度	令和6年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	

今後の展開方向  
(Action)



継続/現状維持	継続/現状維持	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020090	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	ごみステーション維持管理事業			担当課	住民生活課
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①ごみステーション更新数 ②ごみステーション維持管理台数			数値目標	①15台 ②350台以上

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
ごみステーションの更新、設置及び修繕 ごみステーションの老朽化のための更新、設置及び修繕を行い、維持管理を実施する。		ごみステーション ・更新（3台） 大～2台 小～1台 ・修繕（5台） ・修繕（塗装）		ごみステーション ・更新（3台） 大～2台 小～1台 ・修繕（10台） ・修繕（塗装）		ごみステーション ・更新（3台） 大～2台 小～1台 ・修繕（10台） ・修繕（塗装）		ごみステーション ・更新（3台） 大～2台 小～1台 ・修繕（10台） ・修繕（塗装）		ごみステーション ・更新（3台） 大～2台 小～1台 ・修繕（10台） ・修繕（塗装）		
		年度別数値目標	①3台 ②350台以上	①3台 ②350台以上	①3台 ②350台以上	①3台 ②350台以上	①3台 ②350台以上					
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	13,541	4,894	1,482	1,925	2,969	2,969	3,030		3,030		3,030
合計(千円)	13,541	4,894	1,482	1,925	2,969	2,969	3,030	0	3,030	0	3,030	0
特定財源			※簡素化対象事業		※簡素化対象事業							
	評価・実績	実施内容										
評価結果	A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持									

事業名	ごみステーション維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	ごみステーション購入数及び修繕数	
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① ごみステーション購入数	目標年度	令和6年度
			目標値	3台
			実績値	3台
			達成度	100.0 %
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的		② ごみステーション修繕数	目標年度	令和6年度
			目標値	10台
			実績値	15台
			達成度	150.0 %
内容 (どのような手段で何を行ったか)				

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効 率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

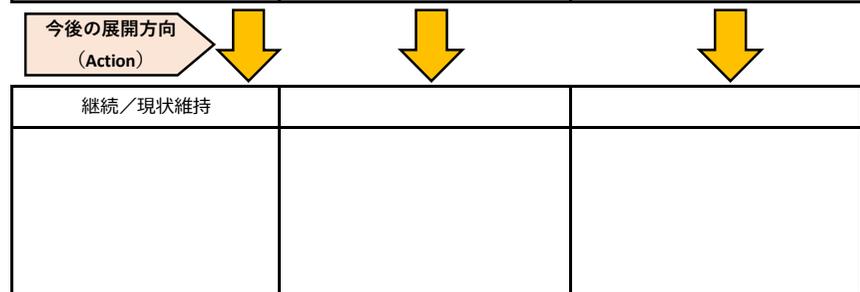
		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		



※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020100	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	環境衛生車両整備事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和8年度	事業主体	関係課		
事業指標	環境衛生車両更新台数		数値目標	4台	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容			
環境衛生車両整備 最終処分場使用車両入替 ごみ収集車入替 焼却処理場使用車両入替		・最終処分場使用車両入替（1台） 油圧ショベル購入 ※トラッシュローダー老朽化のため入替		・ごみ収集車入替（1台） 2トントラック購入		・焼却処理場使用車両入替（1台） 1.5トントラック購入 4,670千円		・ごみ収集車入替（1台） 塵芥収集車購入 20,482千円					
		年度別数値目標 1台		1台		1台		1台					
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
財源内訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	65,600	15,800	25,000	15,800	15,600		4,600		20,400			
	その他	0	0										
	一般財源	284	222	80	73	52	149	70		82			
合計(千円)		65,884	16,022	25,080	15,873	15,652	149	4,670	0	20,482	0	0	
特定財源	過疎対策事業債		評価・実績	実施内容		・油圧ショベル購入		・2トントラック購入(事故繰越)					
				評価結果		A - 継続 / 現状維持		B - 継続 / 現状維持					

事業名	環境衛生車両整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	塵芥収集作業の車両		望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	車両の更新	
抱える課題やニーズ	車両の老朽化		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか（意図）	車両の整備		① 2トンダンプ購入	目標年度	令和6年度
				目標値	1台
				実績値	0台
				達成度	0.0%
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	塵芥収集作業の効率化		② 軽トラック購入	目標年度	令和6年度
				目標値	0台
				実績値	1台
				達成度	0.0%
内容（どのような手段で何を行ったか）	2トンダンプ購入	特殊車両につき取扱い可能なディーラー2社入札を行い発注したが、全国的な資材不足の影響を受け、ボデー製作資材や部品調達に遅延が生じ、年度内の納車が出来ず、事故繰越しとなった。			
	最終処分場軽トラック購入	最終処分場で使用している軽トラックが故障し、修理不能となったことから、町内取扱い2社見積合せで購入した。			

■事務事業の評価（Check）

(1) 事務事業の必要性（町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	塵芥収集は、町内環境や公衆衛生維持ため必須であり、関連する車両の整備は必要である。
必要／概ね必要		<input type="checkbox"/> 全部	
課題あり		<input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

課題あり		設定した目標値の達成状況	軽トラックは購入・納車できたが、2トンダンプは設計・規格どおりの車両を発注できたものの、ボデー製作資材や部品調達に遅延が生じ、年度内の納車に至らなかった。
有効／概ね有効		<input type="checkbox"/> 達成	
課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか）

効率的		判断の理由	塵芥収集で使用する車両を使用年数が高い車両から計画的に整備を進めることで、経費の平準化が図られ、車両の燃費性能等も向上し、車両経費の抑制に繋がる。
効率的／概ね効率的		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり		<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平		判断の理由	塵芥収集は全町民に関係し、その関連車両の整備であることから、受益が偏ることはない。
公平／概ね公平		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B		
軽トラックは購入・納車できたが、2トンダンプは設計・規格どおりの車両を発注できたものの、ボデー製作資材や部品調達に遅延が生じ、年度内の納車に至らなかった。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続／現状維持			
引き続き、老朽化した車両を整備し、町内環境や公衆衛生維持のため、塵芥収集に努める。			

※展開方向の区分  
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020110	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	令和10年度 事業内容 揚水ポンプ交換、調整槽ポンプ交換、 生物処理ポンプ交換、汚泥引抜ポンプ交換 計画事業費 5,390千円
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	最終処分場浸出水処理施設維持管理事業			担当課	令和11年度 事業内容 トラックスケール交換 計画事業費 23,210千円
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①処理施設正常稼働率 ②施設整備機器数			数値目標	①100% ②10機器

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
最終処分場浸出水処理施設の維持管理 最終処分場浸出水処理施設の老朽化のため維持管理を行う。		生物処理水流量計交換		調整槽攪拌プロワ交換		混和槽攪拌機交換 凝集槽攪拌機交換 中和槽攪拌機交換				凝集剤ポンプ交換 凝集助剤ポンプ交換 凝集助剤貯槽攪拌機交換 回転円板整備		
		年度別数値目標	①100% ②1機器	①100% ②1機器	①100% ②3機器	①100% ②1機器	①100% ②4機器					
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財源内訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	4,000	4,700			4,000	4,700					
	一般財源	15,197	1,878	1,729	1,672	818	206	4,730				7,920
合計(千円)	19,197	6,578	1,729	1,672	4,818	4,906	4,730	0	0	0	7,920	0
特定財源	公共施設整備基金繰入金											
	評価・実績	実施内容	・最終処分場浸出水処理施設維持管理工事		・最終処分場浸出水処理施設維持管理工事 ・最終処分場浸出水処理施設予備ポンプ購入							
	評価結果	A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持								

事業名	最終処分場浸出水処理施設維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	最終処分場浸出水処理施設		望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	①正常稼働率 ②施設整備機器数	
抱える課題やニーズ	最終処分場浸出水処理施設設備等の老朽化		指標（指標計算式/解説）	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか（意図）	計画的に施設設備等を整備し施設を適切に維持管理する		① 正常稼働率（1施設）	目標年度	令和6年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	より安定した施設運営を図る			目標値	100%
				実績値	100%
				達成度	100.0%
内容（どのような手段で何を行ったか）	最終処分場浸出水処理施設維持管理工事	当初からの設備導入業者と随意契約し、調整槽攪拌ブロウ交換工事を実施した。	② 施設整備機器数	目標年度	令和6年度
	最終処分場浸出水処理施設予備ポンプ購入	施設管理に支障が生じないよう追加の予備ポンプを購入し、施設へ備え付けた。		目標値	1機器
				実績値	2機器
			達成度	200.0%	

■事務事業の評価（Check）

(1) 事務事業の必要性（町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	施設設備等の老朽化に伴い、計画的に設備等を整備し、維持管理に努める必要がある。
必要/概ね必要/課題あり		<input type="checkbox"/> 全部	
		<input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	浸出水処理は適切に行う必要があることから、設備を整備し施設環境の維持管理を図り運営の安定化に努めることは有効である。
有効/概ね有効/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
		<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	計画的に設備等の整備を進めていくことで、経費の平準化が図られ、エネルギー効率等も好転し、安定した施設運営に繋がるので効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input type="checkbox"/> 人員削減	
		<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	廃棄物は全町民に関係し、その関連施設の維持管理であることから、受益が偏ることはない。
公平/概ね公平/公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画していた工事を実施し施設環境の維持管理が図られ、浸出水という特殊性があるものの処理を適切に行い、周辺環境にも配慮できた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
今後も計画的に施設の維持管理を行い、安定した施設運営を図る。			

※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了 休止 廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020120	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	3 ごみ・し尿処理の推進			
事業名	廃棄物処理施設設備等整備事業			担当課	住民生活課
事業期間	令和5年度～令和7年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①正常稼働率 ②設備等整備数			数値目標	①100% ②10機器等

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
最終処分場・焼却処理場の設備等整備		最終処分場・焼却処理場設備等整備 ・最終処分場暖房機購入（1台） 332千円 ・焼却処理場暖房機購入（3台） 747千円 ・最終処分場覆土整備 700千円 ・焼却処理場低濃度PCB調査 300千円		最終処分場・焼却処理場設備等整備 ・焼却処理場トイレ改修 2,000千円 ・焼却処理場変圧器等撤去処分 処理料 792千円 運搬料 1,221千円		最終処分場・焼却処理場設備等整備 ・焼却処理場照明設備改修 407千円 ・最終処分場照明設備改修 336千円						
		年度別数値目標	①100% ②6機器等	①100% ②2機器等	①100% ②2機器等							
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財源内訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	2,000	800			2,000	800					
	一般財源	4,835	4,785	2,079	1,971	2,013	2,814	743				
合計(千円)	6,835	5,585	2,079	1,971	4,013	3,614	743	0	0	0	0	
特定財源	公共施設整備基金繰入金											
	評価・実績	実施内容	・ごみ処理施設等暖房機暖房機購入 ・最終処分場覆土整備工事 ・焼却処理場低濃度PCB調査委託業務		・焼却処理場トイレ改修工事 ・焼却処理場照明設備改修工事 ・焼却処理場低濃度PCB廃棄物運搬委託業務 ・焼却処理場低濃度PCB廃棄物処理委託業務							
	評価結果	A - 継続 / 現状維持		A - 継続 / 現状維持								

事業名	廃棄物処理施設設備等整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	廃棄物処理施設	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①正常稼働率 ②設備等整備数								
抱える課題やニーズ	最終処分場・焼却処理場施設設備等の老朽化	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	計画的に施設設備等を整備し施設を適切に維持管理する	① 正常稼働率 (1施設)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和6年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和6年度	目標値	100%	実績値	100%	達成度	100.0%
目標年度	令和6年度										
目標値	100%										
実績値	100%										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	より安定した施設運営を図る	② 設備等整備数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和6年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2 機器等</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2 機器等</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和6年度	目標値	2 機器等	実績値	2 機器等	達成度	100.0%
目標年度	令和6年度										
目標値	2 機器等										
実績値	2 機器等										
達成度	100.0%										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	焼却処理場トイレ改修工事	3社見積合せで施行業者を決め、トイレ1箇所を和式から洋式へ改修する工事を実施した。									
	焼却処理場照明設備改修工事	3社見積合せで施行業者を決め、事務室10器、トイレ1器、給湯室1器を既存灯具からLED灯具へ改修する工事を実施した。									
	焼却処理場低濃度PCB廃棄物運搬及び処理委託	昨年度の調査で判明し焼却処理場内に保管していた当該廃棄物の運搬について、その業者を2社入札で決め、処理業者へ運搬・搬入し処理業者において当該廃棄物を適切に処分した。									

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	施設設備等の老朽化に伴い、計画的に設備等を整備し、より安定した施設運営を図る必要がある。
必要/概ね必要/課題あり		<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	廃棄物の処理は適切に行う必要があることから、関連施設を整備し施設環境の改善と運営の安定化に努めることは有効である。
有効/概ね有効/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	計画的に設備等の整備を進めていくことで、経費の平準化が図られ、エネルギー効率等も好転し、安定した施設運営に繋がるので効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	廃棄物は全町民に関係し、その処理施設の整備であることから、受益が偏ることはない。
公平/概ね公平/公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
計画していた工事を実施し施設環境の改善が図られた。また施設内から見つかった低濃度PCB廃棄物を適切に処分し、施設の適正管理に努めた。		

今後の展開方向 (Action)



継続/現状維持		
今後も計画的に施設設備等を整備し、安定した施設運営を図る。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止

## 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020130	基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	2 下水道の安定処理			
事業名	浄化槽整備事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		建設水道課
事業指標	浄化槽設置基数		数値目標	年3基以上	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容			
公共水域の水質保全、快適な居住環境を確保するには、生活雑排水の水洗化を図る必要があり、下水道処理区域外に対して合併処理浄化槽の普及を推進する必要があるため、合併処理浄化槽設置者及び維持管理者に補助金を交付する。		・浄化槽設置者に対する補助金交付 設置予定基数 10基 5人槽:3基 7人槽:6基 10人槽:1基		・浄化槽設置者に対する補助金交付 設置予定基数 5基 5人槽:3基 7人槽:2基 10人槽:0基		・浄化槽設置者に対する補助金交付 設置予定基数 4基 5人槽:2基 7人槽:2基 10人槽:0基		・浄化槽設置者に対する補助金交付 設置予定基数 4基 5人槽:2基 7人槽:2基 10人槽:0基		・浄化槽設置者に対する補助金交付 設置予定基数 4基 5人槽:2基 7人槽:2基 10人槽:0基			
		・浄化槽設置維持管理者に対する補助金交付 40件		・浄化槽設置維持管理者に対する補助金交付 40件		・浄化槽設置維持管理者に対する補助金交付 45件		・浄化槽設置維持管理者に対する補助金交付 49件		・浄化槽設置維持管理者に対する補助金交付 53件			
		年度別数値目標		10基		5基		3基		3基			
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
	国庫支出金	3,385	689	1,558	689	102		575		575		575	
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	42,437	7,342	14,942	4,748	7,998	2,594	6,395		6,499		6,603	
合計(千円)	45,822	8,031	16,500	5,437	8,100	2,594	6,970	0	7,074	0	7,178	0	
特定財源	循環型社会形成推進交付金												
		評価・実績	・合併処理浄化槽設置補助 (3件) 5人槽:2件 7人槽:1件 ・合併処理浄化槽維持管理補助 (51件)		・合併処理浄化槽設置補助 7人槽:1件 ・合併処理浄化槽維持管理補助 40件								
	評価結果	B - 継続 / 現状維持		B - 継続 / 内容の見直し・変更									

事業名	浄化槽整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	下水道処理区域外全戸	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①浄化槽設置基数 ②維持管理数	
抱える課題やニーズ	生活排水未処理放流による公共水域への環境負荷	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)	生活排水処理設備 (合併処理浄化槽) の設置数の向上と適切な維持管理	① 設置者補助件数	目標年度	令和6年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	生活排水処理の普及に伴う生活環境の向上		目標値	5基
			実績値	1基
		② 維持管理者補助件数	達成度	20.0%
			目標年度	令和6年度
			目標値	40件
			実績値	40件
			達成度	100.0%
内容 (どのような手段で何を行ったか)	合併処理浄化槽設置に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置に係る経費の95%相当分を補助した。(下水道処理区域外) ※上限額あり(処理人槽で上限額が異なる)		
	合併処理浄化槽維持管理に対する補助金の交付	合併処理浄化槽維持管理費の一部を補助した。(上限額25,000円)		

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共水域の水質保全、快適な居住環境を確保するには、生活排水の水質汚濁を削減するため、下水道処理区域外に対して合併処理浄化槽の普及を推進する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり		<input type="checkbox"/> 全部	
		<input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	合併処理浄化槽の新規設置基数は少ないものの、合併処理浄化槽維持管理件数は毎年一定件数あり、浄化槽が適切に管理され、処理された生活排水が放流されているので有効と考える。
有効/概ね有効/課題あり		<input type="checkbox"/> 達成	
		<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	公共水域の環境負荷改善の促進を図るという点では効果があると考えられ、補助金交付事業だが上限額を設けているため過度な交付とはなっていない。
効率的/概ね効率的/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input type="checkbox"/> 人員削減	
		<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

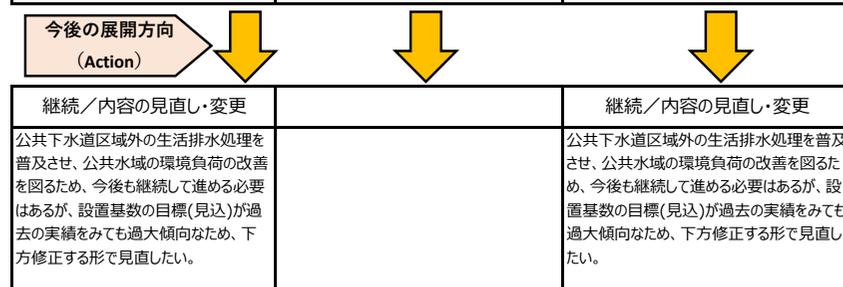
公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	下水道処理区域外の生活排水処理の普及は公共水域の水質保全に寄与され、環境保全及び快適性が向上し、全ての町民が快適で清潔な生活環境が推進されることから公平と考える。
公平/概ね公平/公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価 (A~D)

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B		B
浄化槽設置基数は目標値よりも下回っているが、合併処理浄化槽の普及が進み、生活排水処理の普及に伴う生活環境の向上が図られている。		浄化槽設置基数は目標値よりも下回っているが、合併処理浄化槽の普及が進み、生活排水処理の普及に伴う生活環境の向上が図られている。



※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020140	基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	令和4年度 西紋別地区環境衛生センター解体事業負担金 23,178千円
	単位施策	2 下水道の安定処理			
事業名	下水道広域化推進総合事業（環境衛生係）			担当課	住民生活課
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町	関係課	建設水道課
事業指標	①浄化センター正常稼働率 ②浄化センターし尿等処理率			数値目標	①100% ②100%

全体計画事業内容	令和5年度 事業内容	令和6年度 事業内容	令和7年度 事業内容	令和8年度 事業内容	令和9年度 事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成町村協議</li> <li>・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出</li> <li>・し尿等搬送委託料</li> <li>・西紋別地区環境衛生センター解体事業負担金 (R4～R5予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成町村協議</li> <li>・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出 10,868千円</li> <li>・し尿等搬送委託料 864千円</li> <li>・西紋別地区環境衛生センター解体事業負担金 (R4～R5予定) 25,220千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成町村協議</li> <li>・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出 11,764千円</li> <li>・し尿等搬送委託料 3,722千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成町村協議</li> <li>・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出 15,450千円</li> <li>・し尿等搬送委託料 3,723千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成町村協議</li> <li>・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出 15,450千円</li> <li>・し尿等搬送委託料 3,723千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成町村協議</li> <li>・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出 15,450千円</li> <li>・し尿等搬送委託料 3,723千円</li> </ul>
年度別数値目標	①100% ②100%	①100% ②100%	①100% ②100%	①100% ②100%	①100% ②100%

		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
		計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
財源内訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	109,957	53,363	36,952	38,350	15,486	15,013	19,173	19,173	19,173	19,173	
合計(千円)	109,957	53,363	36,952	38,350	15,486	15,013	19,173	0	19,173	0	19,173	0

特定財源	評価・実績	実施内容	評価結果
		※簡素化対象事業	A - 継続 / 縮小
		※簡素化対象事業	A - 継続 / 現状維持

事業名	下水道広域化推進総合事業（環境衛生係）	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）		望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	施設稼働に向けた業務数	
抱える課題やニーズ		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか（意図）		① 浄化センター正常稼働率	目標年度	令和6年度
			目標値	100%
			実績値	100%
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的		② 浄化センターし尿等処理率	目標年度	令和6年度
			目標値	100%
			実績値	100%
内容（どのような手段で何を行ったか）			達成度	100.0%
			目標年度	令和6年度
			目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0%

■事務事業の評価（Check）

(1) 事務事業の必要性（町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要／概ね必要 課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

		設定した目標値の達成状況	
	<input type="checkbox"/>	達成	
有効／概ね有効 課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか）

		判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的／概ね効率的 課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

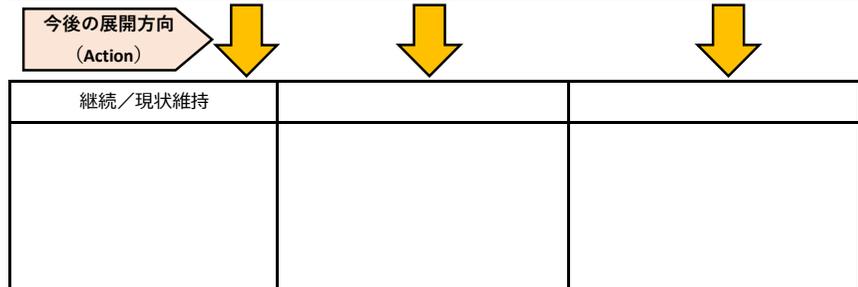
		判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平／概ね公平 ／公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		



※展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
04020150	基本施策	13 環境の保全	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	1 自然環境・地球環境の保全			
事業名	飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業		担当課	住民生活課	
事業期間	令和6年度～令和9年度	事業主体	関係課		
事業指標	飼い主のいない猫の不妊去勢手術頭数		数値目標	20匹	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
飼い主のいない猫の増加を抑制するため、飼い主のいない猫への不妊去勢手術に要する経費に対し、予算の範囲内において、補助金を交付する。				不妊去勢手術（20匹） 400千円		不妊去勢手術（20匹） 400千円		不妊去勢手術（20匹） 400千円		不妊去勢手術（20匹） 400千円		
		年度別数値目標		20匹		20匹		20匹		20匹		
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財源内訳	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	1,600	328			400	328	400		400		400
合計(千円)	1,600	328	0	0	400	328	400	0	400	0	400	0
特定財源					※簡素化対象事業							
		評価・実績										
		評価結果			A - 継続 / 内容の見直し・変更							

事業名	飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	河原 学
		評価者 作成者 職氏名	住民生活課長補佐兼環境衛生係長	渡部 憲一

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	飼い主のいない猫の不妊去勢手術頭数		
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 41匹 (メス26匹、オス15匹)	目標年度	令和6年 年度	
			目標値	20 匹	
			実績値	41 匹	
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的		②	達成度	205.0 %	
			目標年度	令和6 年度	
			目標値		
				実績値	
				達成度	#DIV/0! %
内容 (どのような手段で何を行ったか)					

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部
	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況
	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

		判断の理由
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	



継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
予算の範囲内ということではあるものの、現状では件数が増加傾向にあることから、実績の検証をしていくとともに、もう少し明確なルールづくりに努めたい。	同左	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止